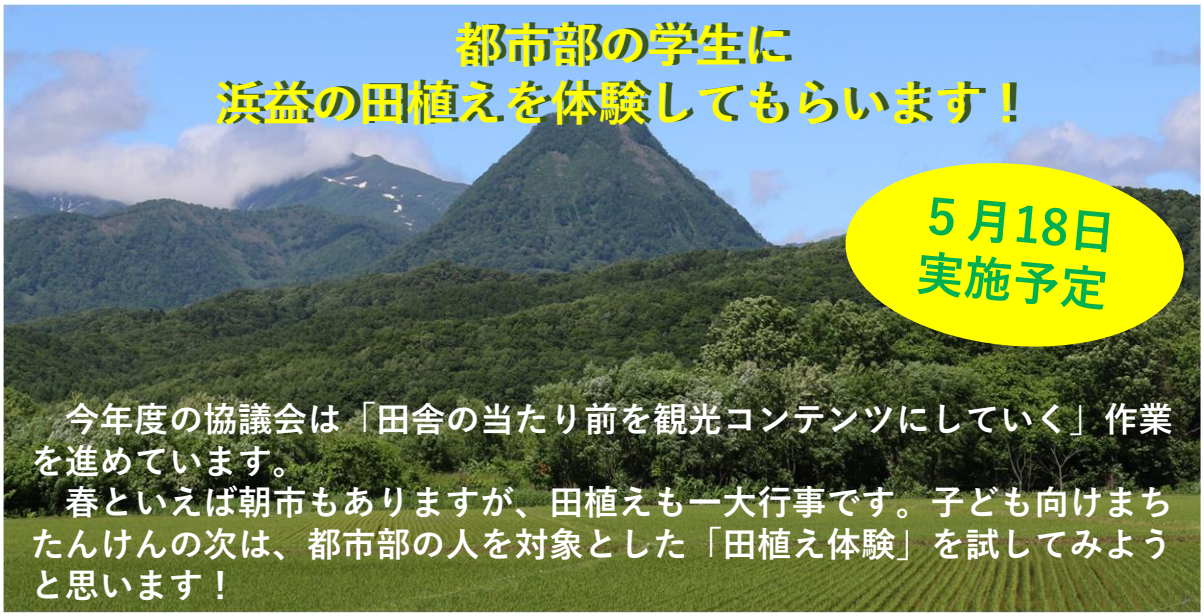
浜益区民のための情報紙
いま・はま
第5号　令和元年　5月15日
発　行　浜益観光まちづくり推進協議会
（事務局）79−5700



都市部の学生に浜益の田植えを体験してもらいます！

5月18日実施予定

今年度の協議会は「田舎の当たり前を観光コンテンツにしていく」作業を進めています。
春といえば朝市もありますが、田植えも一大行事です。子ども向けまちたんけんの次は、都市部の人を対象とした「田植え体験」を試してみようと思います！

ただ、今回は田植えの時期と選挙が重なっていて、初めて実施するにはスタッフ不足や準備不足な面があります。
そこで、一般公募はせず「ＮＰＯ法人ezorock」でボランティア活動をしている都市部の学生に声をかけて実施することにしました。浜益に関心のある学生に先駆けて体験してもらうことで、今後の田植えの戦力になってもらったり、田植えをはじめとする農業体験を本格的に事業化したときのスタッフとして参加してもらうことを狙いとしています。

連休特別子ども企画

第1回「浜益まちたんけん」をしました

連休後半5月4日に「浜益まちたんけん」を初めて行いました。探検日和な晴天のもと、浜益コミセンをスタート。
海幸さんの裏手にある「岡島洞窟」の前を通り、普段入る機会の少ない浜益支所では支所長の机探しをしました。
大心寺の石段を何度も上り下りして段数を数えたりして、さらに奥にある神社へ向かいます。
その後は旧公民館の通りから劇場通りと呼ばれる小道へ。マルハチ醤油店の玄関先では、八田さんにお店の歴史を教えてもらいました。

そして次は豊隆寺にお邪魔して、地獄絵も見学。白井さんが地獄にはどんな人が行くのかを教えてくれました。子どもたちはみんな興味しんしん。真剣な顔でお話を聞いていましたよ。
お昼ご飯を食べた後は、浜益漁港へ向かいました。たくさん船があり、友達のお父さんの船も教えてもらいました。
最後はちょっと遠いけれど、郷土資料館へ。初めて行くという子がほとんどでした。館内ではニシン漁に使われた道具などを見ましたが、女の子に人気だったのはジオラマです。ミニチュアの資料館の中には人形がいて、それぞれが本当に生活しているかのよう。
浜益コミセンに戻り、浜益地区の探検が終了です。全部で10キロ近い距離を歩きました。低学年が多かったのですが、みんなよくがんばりました！

厚田道の駅で「浜益ふるさと朝市」PR

連休始めの4月27日に、厚田道の駅で「浜益ふるさと朝市」のPRをしてきました！
漁協青年部のみなさんに全面協力していただき、焼きたてのホタテやタコ串をその場で販売。あいにくの天気で人の出足は鈍かったのですが、興味を示してくれるお客さんや、「朝市行ったことあるよ！」と言ってくれるお客さんもいました。
浜益に足を運んでもらうには、私たちが積極的に外に出て行くことも必要だと思います。
今後も様々な機会に、区外で浜益をPRしていきます！

YouTube
「えりすいしかり」では
地域おこし協力隊の
柿岡さんが朝市を紹介
しています

愛称を「まち協」として、当協議会の構成員を再度紹介します

団体・個人どちらでも参加可能です

地域おこし協力隊
柿岡さん

こがね山岳会
増毛山道の会

荘内藩陣屋研究会

石狩観光協会
浜益事務所

幌果樹組合

浜益わかもん会

アミーケ・インターナショナル
株式会社

浜益「千本ナラ」
巨樹・巨木保全協議会

寺山ファーム

JA北石狩女性部浜益ブロック

株式会社あい風

浜益支所

スタッフのつぶやき

市役所に勤めて20年。ほぼ窓口業務にしか携わってきませんでしたが、4月から観光担当を仰せつかりました。
その地域で「光るもの」を「観る」こと、それが「観光」。浜益の輝く魅力を見つけて、たくさんの方に紹介し、「観に」きてもらう。観るだけでなく、体験もしてほしい。地域の文化や自然、魅力的な人と触れ合ってほしい。
そうしてたくさんの「浜益ファン」を作りたいと思っています。
協議会の役割は、それぞれの活動を補い合いながら、地域の宝を探して磨き、光り輝かせることだと思っています。できることから少しずつ、浜益の宝を見つけるお手伝いができればいいなぁ。（小貫陽子）

こがね山岳会からのお知らせ